

辰馬考古資料館

公益財団法人 辰馬考古資料館
〒662-0962 兵庫県西宮市松下町2-28
TEL&FAX 0798-34-0130
tatsu-kouko@syd.odn.ne.jp

辰馬考古資料館

令和2年度春季展

春季展「富岡鉄斎展」

富岡鉄斎(1836～1924)は、明治、大正を通じて大きく変革する日本画壇において、独自の画風を展開した文人画家です。その画歴はおよそ70年にわたり、一万点に上るといわれる作品は実に多彩で、文人画の枠をはるかに越えています。当館所蔵の鉄斎作品は、辰馬家初代悦叟と鉄斎との交遊に基づくものであり1980年に辰馬家より一括寄贈を受け、以来毎年春に展観を行っています。

鉄斎と西宮で酒造業を営む北辰馬家（清酒「白鷹」醸造元）の親交は、1907（明治40年）、辰馬家初代悦叟73歳、鉄斎72歳の頃より始まり、鉄斎が89歳で亡くなるまで続きます。この間は鉄斎の作画生活が最も充実していた時期と重なり、多くの傑作が生み出されています。

今回の春季展では、辰馬家旧蔵鉄斎作品の中から、「東坡先生笠展図」を出品いたします。この作品は中国宋の文人蘇東坡を描いたものです。その文人としての生き方に深く共感していた鉄斎は、同日生まれということもあり彼に敬慕の念を抱いていました。

他にも悦叟の喜寿を祝って描かれた「三千歳図」や、とんち話で知られる一休和尚の逸話が描かれた「一休蓮如問答図」など、三十代から晩年にかけての力作をご覧いただきたい思います。

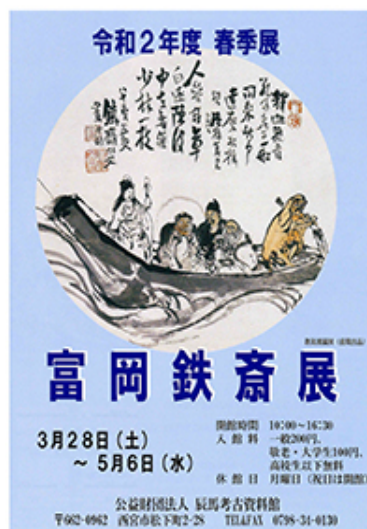
※会期中、出品作品の入れ替えを行います。

前期：3月28日～4月19日

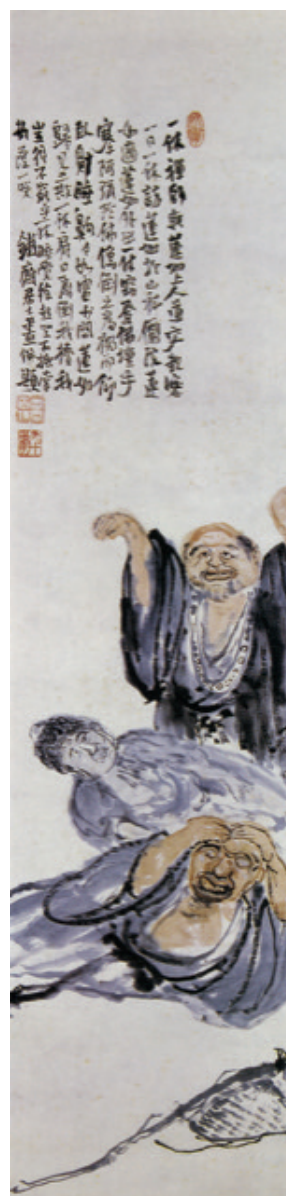
後期：4月21日～5月6日

主な展示品





[パンフレットはこちらから](#)



一休蓮如問答図(前期)

開催概要

展覧会名称	富岡鉄斎展
期間	2020年3月28日(土)~5月6日(水) (前期3/28~4/19、後期4/21~5/6)
開館時間	10:00~16:30(入館は16:00まで)
入館料	一般200円、敬老・大学生100円、高校生以下無料
休館日	月曜休館(祝日は開館)
ミュージアムコンサート	謡と小鼓の響き「二人静」~花の吉野山に義経を思い舞う静御前~

日時：4月3日(金) 14:30～15:30
謡：寺澤幸祐 小鼓：久田舜一郎、久田陽春子
参加費：無料（入館料のみお支払いいただきます）

交通

辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分
JRさくら夙川駅より徒歩7分
阪急電車夙川駅より徒歩10分

辰馬考古資料館

令和2年度夏季企画展

夏季企画展 「なぜ解き考古学2020」

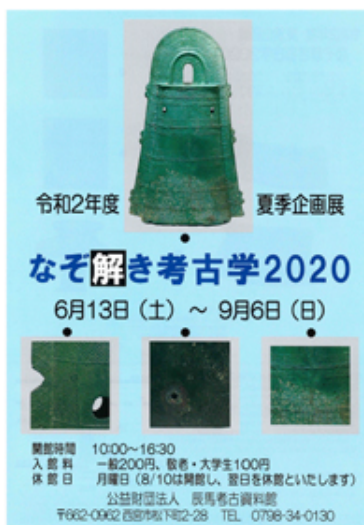
今回の展観は夏季企画展として、館蔵品を用いたクイズ形式で行います。展示品を観察して、つくられた時代や技法の共通点などを探し出してください。単に知識を得るのではなく、展示資料の観察から、さまざまな情報を引き出す過程を楽しんでいただければと存じます。

主な展示品

- 弥生土器(大阪府 瓜破東之町出土)
- 袈裟櫛文銅鐸(滋賀県 大岩山出土)
- 須恵器(伊丹市 大阪空港A遺跡)
- 軒平瓦(韓国各地出土) (ほか)



袈裟櫛文銅鐸



[パンフレットはこちらから](#)

開催概要

展覧会名称 なぜ解き考古学2020

期間	2020年6月13日(土)～9月6日(日)
開館時間	10:00～16:30(入館は16:00まで)
入館料	一般200円、敬老・大学生100円、高校生以下無料
休館日	月曜休館(8/10は開館し、翌日を休館とします)
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

■ 新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

感染症の拡大予防のため、ご来館の皆様には、以下の点にご注意いただくようお願い申し上げます。

1. 発熱、咳等の症状のある方は見学をご遠慮ください。
 2. 館内が混み合う場合、入場を制限いたします。
 3. 入館時のアルコール除菌、マスク着用、芳名帳へのご記入にご協力ください。
(万が一の場合の感染経路特定のため。また本情報は別の目的には使用いたしません)
- 状況により臨時に休館することがあります。ご了承ください。



秋季展「東日本の縄文土器」

本年度の秋季展では館蔵品のなかから東北と関東地方の縄文土器を中心に展示いたします。併せて館蔵品が出土した東日本の縄文遺跡の紹介も行います。西日本の縄文土器とは異なる特徴をご覧ください。

主な展示品

出土遺跡

- 亀ヶ岡遺跡（青森県）
- 十腰内遺跡（青森県）
- 田舎館遺跡（青森県）
- 里浜貝塚（宮城県）
- 椎塚貝塚（茨城県）
- 福田貝塚（茨城県）
- 余山貝塚（千葉県）



亀ヶ岡 深鉢



余山 深鉢



亀ヶ岡 注口土器



[パンフレットはこちら](#)

開催概要

展覧会名称	秋季展 東日本の縄文土器
期間	令和2年10月3日(土)～12月6日(日) (開館は午前10時から午後4時30分。入館は午後4時まで。)
入館料	大人200円、大学生100円、高校生以下無料
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日休館)
講演会	事前申込制・定員30名 「兵庫の縄文と悦蔵翁が見極めた東の縄文」 日時：11月7日(土)13時30分～15時 講師：深井 明比古 氏 (播磨町郷土資料館) 会場：西宮市教育文化センター (西宮市川添町15-26) 《お申し込み方法》 10月28日までにメールもしくははがきにて、お名前・ご住所・電話番号をご記入の上、当館までお送りください。後日、受付確認のはがきを返送いたしますので、当日ははがきをご持参の上お越しく下さい。なお申込多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご了承ください。 メール送付先： tatsu-kouko@syd.odn.ne.jp はがき送付先：〒662-0962 西宮市松下町2-28 辰馬考古資料館 宛
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

■ 新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

感染症の拡大予防のため、ご来館の皆様には、以下の点にご注意いただくようお願い申し上げます。

1. 発熱、咳等の症状のある方は見学をご遠慮ください。
2. 館内が混み合う場合、入場を制限いたします。
3. 入館時のアルコール除菌、マスク着用、芳名帳へのご記入にご協力ください。
(万が一の場合の感染経路特定のため。また本情報は別の目的には使用いたしません)
状況により臨時に休館することがあります。ご了承ください。